

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けが
あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード	131302		あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。 ※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。												
事務事業名	家族介護者支援交流事業						担当部局・課	健康福祉部 高年福祉課				評価結果 C 上位施策に対する貢献度はやや低く、より効率的・効果的な事業のあり方について検討が必要。 上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。			
事業内容	介護から一時的に開放される、リフレッシュ旅行や介護に役立つ内容等の講演会を開催する。						事業開始(予定)年度								
平成12年度															
事業終了(予定)年度															
				—											
この事業の上位施策	これから5年間のまちづくりプラン	視点	支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現												
		項目	きめ細かな地域福祉の推進												
		施策	要介護者の家族への支援												
	⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。 行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。														
事業の目的	高齢者を介護している家族に対して、介護から一時的に開放し、介護者相互の交流会に参加するなど元気回復を図る。						予算費目 (複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)		(款) 特別会計 (項) (目) (事項)						
事業費等の概算	平成17年度(決算)						平成18年度(予算)								
	事業費	240千円	財源内訳				事業費	240千円	財源内訳						
			国・県補助金等		180千円				国・県補助金等		180千円				
			市 債		—				市 債		—				
			その他(使用料等)		—				その他(使用料等)		—				
			一般財源(市税等)		60千円				一般財源(市税等)		60千円				
	投入人員	0.05人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)				投入人員	0.05人	⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。 =担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)						
	人件費	428千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。				人件費	428千円	⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。						
経費合計	668千円						経費合計	668千円							
活動指標	指標名(単位)	参加者数（人）					計画と実績	年度 区分	H17年度	H18年度					
	意味・算式等	家族介護交流会参加者数						計画値	500	500					
								実績値	225						